

 上野技術研究所

会社概要

会社名	株式会社上野技術研究所
代表取締役	辻井栄一郎
設立年	令和4年7月28日
資本金	6,800,000円

財を残すは下、
事業を残すは中、
人を残すは上なり。
されど、
財なさずんば、
事業保ち難く、
事業なくんば人育ち難し。

後藤新平（愛知医学校校長）

経営体制



辻井 栄一郎（代表取締役）

神戸高専機械工学科卒

バンドー化学(株)、ヤマハ発動機(株)、Bajaj Auto LTD.、新明工業(株) を経て、
(株)アウトソーシングテクノロジー（現）に勤務。

元名古屋大学客員准教授，現静岡大学客員准教授。

「Issac Conceptに基づく原理原則に立ち返った常識破りの挑戦」にて講演多数



上野 智永（取締役）

東京大学工学系研究科マテリアル工学専攻博士課程 修了 博士(工学) 取得。

名古屋大学工学研究科化学システム工学専攻 助教。

研究領域：難燃材料、超軽量材料、電磁波遮蔽・吸収材料、吸音材料、熱マネジメント材料
JST CREST ライジングスター賞 受賞（2013年、2015年）。

第17回わかしゃち奨励賞 優秀賞。

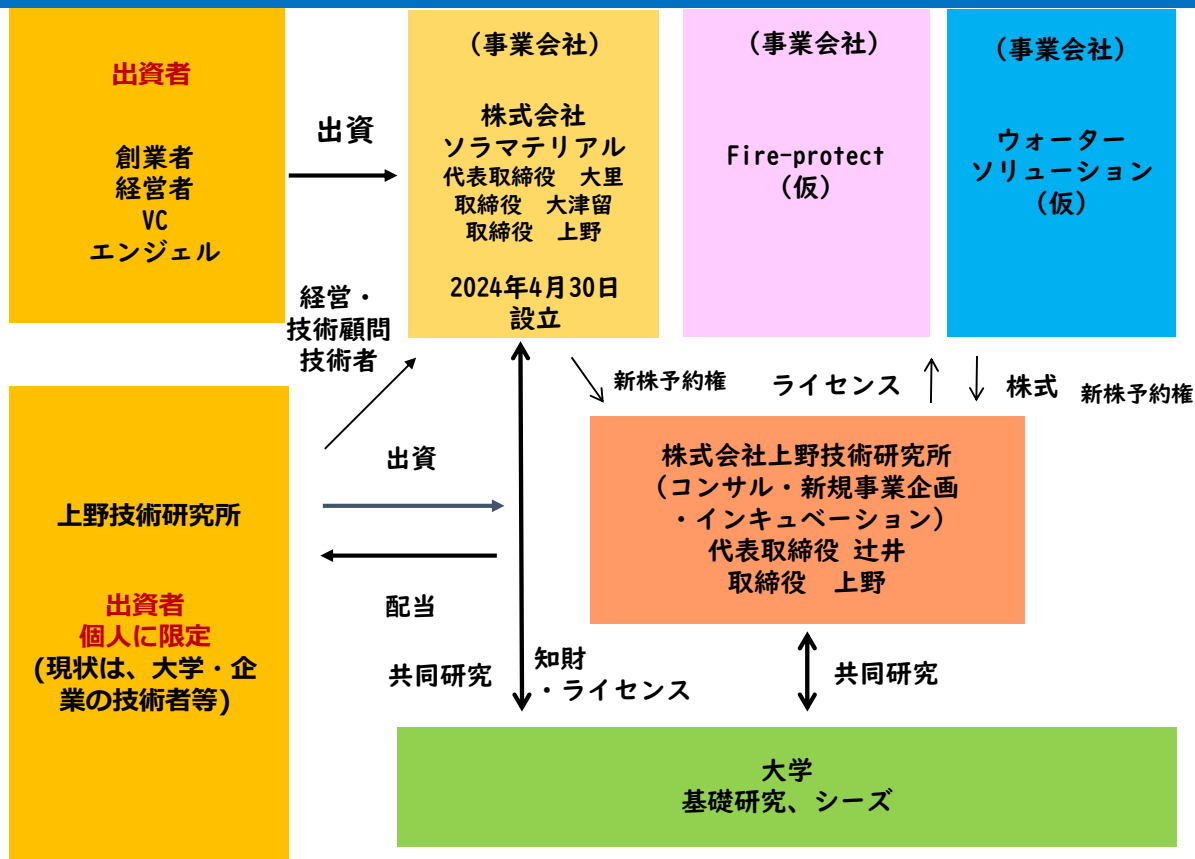
事業Ⅰ 新事業インキュベーション

大学等の技術の事業化に向けたコンサル、新規事業企画、インキュベーション事業。

名古屋大学上野らが開発した技術のみならず、他研究者の技術も包括し、裾野を拡大する。

事業性が見込める技術については、事業化に向けた新会社を設立し、事業化に適した会社体制を構築し、事業化に挑む。

上野技術研究所は、株式取得や新株予約権等により新規設立会社の権限や報酬を得る。



事業 II 難燃・不燃材料 DX開発プラットフォーム構築支援

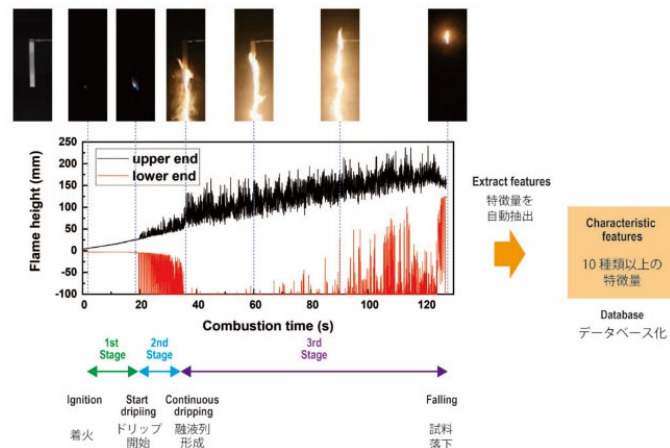
高分子材料の燃焼状態を画像解析により定量的に燃焼評価する技術に基づいた研究開発支援を行う

コンサルティング、受託評価、受託研究、共同研究
ソフトウェア販売、開発プラットフォーム販売(将来)

ベース技術は名古屋大学上野智永が開発
現在は中部大学中島絵梨香講師が研究開発を継続的に実施※1

ニッチな領域であるため市場は限られているが、競争力のある技術により大手企業から引き合い多く、安定的な売上げを目指す。事業性が高まれば、適切な人材を配置し、新会社を設立する。

※1 第19回わかしゃち奨励賞 優秀賞受賞 (中島先生)



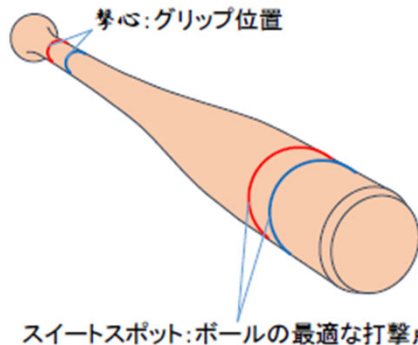
事業 III 撃心バット

スイートスポットと撃心グリップ ※I

撃心

バットを握る場所が変わるとスイートスポットも移動する
バットそれぞれで異なる

※I 辻井栄一郎代表が考案



安いバットでも物理が分かれば遠くに飛ばせる。

古典物理による理論的なスイートスポットを算出！

物理を理解することで野球の技術向上を目指す
現在、いくつかの野球部でFSを実施

会社実績

第1期実績（2022.7～2023.6）

- ・「超軽量材料の社会実装」に向けて、戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)の課題候補「マテリアルプロセスイノベーション基盤技術の整備」に係るフィジビリティスタディ実施に関する調査研究 個別テーマの技術実現性など調査に採択

第2期実績（2023.7～2024.6）

- ・ 第1期での活動を元に上野研究室の卒業生である大里智樹氏を迎え、「超軽量材料の事業化」を目指してソラマテリアルを創業。
1期から大里氏にも参画頂き、経営・技術人材として育成してきた。



第3期実績（2024.7～2025.6）

- ・ 難燃・不燃材料 DX開発プラットフォーム構築支援事業および撃心バット事業を本格的に開始。
継続的な受注、引き合いあり